

令和4年度 第1四半期

厚生年金保険給付組合積立金 運用状況



目次

- ・ 令和4年度 第1四半期運用実績（概要） P 2
- ・ 令和4年度 第1四半期市場環境（その1） P 3
- ・ 令和4年度 第1四半期市場環境（その2） P 4
- ・ 令和4年度 厚生年金保険給付組合積立金の資産構成割合 P 5
- ・ 令和4年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り P 6
- ・ （参考）前年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り P 7
- ・ 令和4年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額 P 8
- ・ （参考）前年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額 P 9
- ・ 令和4年度 厚生年金保険給付組合積立金の資産の額 P 10
- ・ 資産運用に関する専門用語の解説 P 11

令和4年度 第1四半期運用実績（概要）

運用収益額
(第1四半期)

▲ 53億円 ※総合収益額
(+ 51億円 ※実現収益額)

運用利回り
(第1四半期)

▲ 2.29% ※修正総合収益率
(+ 2.58% ※実現収益率)

運用資産残高
(第1四半期末)

2,113億円

※ 情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

総合収益額は、各期末時点での時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変動するものであることに留意が必要です。

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

令和4年度 第1四半期市場環境(その1)

【各市場の動き(令和4年4月～令和4年6月)】

- 国内債券：**10年国債利回りは、海外金利がインフレ加速懸念等から上昇基調にある一方で、日本銀行が従前からの金融市場調節方針(10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けず必要な金額の長期国債の買入れを行う)を堅持し、連続指し値オペを発動する等して、同行がレンジの上限とする0.25%を超えないようにコントロールしたことから、上限金利近辺での横ばい推移となりました。
- 国内株式：**国内株式は、期初、米国株安やロシアに対する追加制裁への警戒感から下落しました。5月に入り、円安の進行や出入国制限の緩和、上海でのロックダウン解除による経済活動の再開等を好感して上昇に転じました。期末にかけては、5月の米国消費者物価指数の大幅な上振れによるインフレ加速懸念から、米国株式が下落したことに加え、各国中央銀行が金融引き締め姿勢を示したことで景気後退懸念が広がり、世界的な株安傾向のなかで再び下落へと転じました。
- 外国債券：**米国10年国債利回りは、インフレ加速により上昇基調(価格は下落)を辿りましたが、急速な金融引き締めによる景気後退も懸念されたことから、一本調子の上昇とはならず、足踏み状態となる局面もありました。ドイツ10年国債利回りは、高いインフレ率の継続や、欧州中央銀行(ECB)の金融政策正常化観測を受けて上昇基調(価格は下落)で推移しましたが、期末には、ユーロ圏の景況感の悪化や、ドイツのインフレ率の伸び鈍化から反落する局面もありました。
- 外国株式：**米国株式(NYダウ)は、インフレ懸念による金融引き締め観測が台頭するなか、好調な企業業績や良好な経済指標を背景に堅調に推移する場面もありましたが、期を通して下落基調となりました。欧州株式(ドイツDAX)は、長期金利上昇や、ロシアへの追加制裁の可能性が嫌気され下落基調となりました。さらに、6月に入り、欧州の景気減速が懸念されるなか、ECBの利上げ開始方針の表明や、スイス中銀による電撃的利上げ等から期末にかけて下げ足を速めました。
- 外国為替：**ドル/円は、日米金融政策の違いや日米金利差拡大観測から、大幅にドル高・円安が進展しました。ユーロ/円は、欧州や中国の景気減速懸念により、ユーロ安・円高に振れる局面もありましたが、高いインフレ率に対する金融政策正常化への思惑から、基調はユーロ高・円安で推移しました。

○ ベンチマーク収益率

	令和4年3月末～ 令和4年6月末
<国内債券> NOMURA-BPI総合	▲1.30%
<国内株式> TOPIX(配当込み)	▲3.65%
<外国債券> FTSE世界国債インデックス (除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース)	2.66%
<外国株式> MSCI ACWI (除く日本、円ベース、配当込み)	▲5.51%

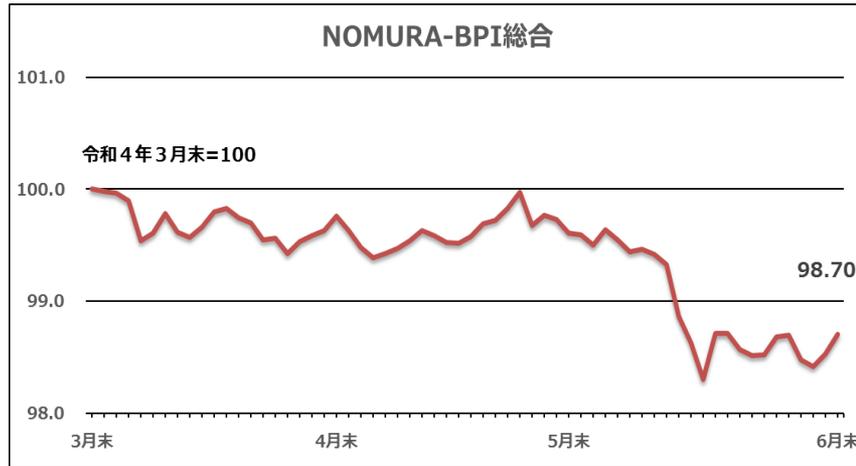
○ 参考指標

		令和4年3月末	令和4年4月末	令和4年5月末	令和4年6月末
国内債券	新発10年国債利回り (%)	0.220	0.230	0.243	0.231
国内株式	TOPIX (ポイント)	1,946.40	1,899.62	1,912.67	1,870.82
	日経平均株価 (円)	27,821.43	26,847.90	27,279.80	26,393.04
外国債券	米国10年国債利回り (%)	2.338	2.934	2.844	3.013
	ドイツ10年国債利回り (%)	0.548	0.938	1.122	1.336
外国株式	NYダウ (ドル)	34,678.35	32,977.21	32,990.12	30,775.43
	ドイツDAX (ポイント)	14,414.75	14,097.88	14,388.35	12,783.77
外国為替	ドル/円 (円)	121.70	129.70	128.67	135.72
	ユーロ/円 (円)	134.67	136.95	138.11	142.26

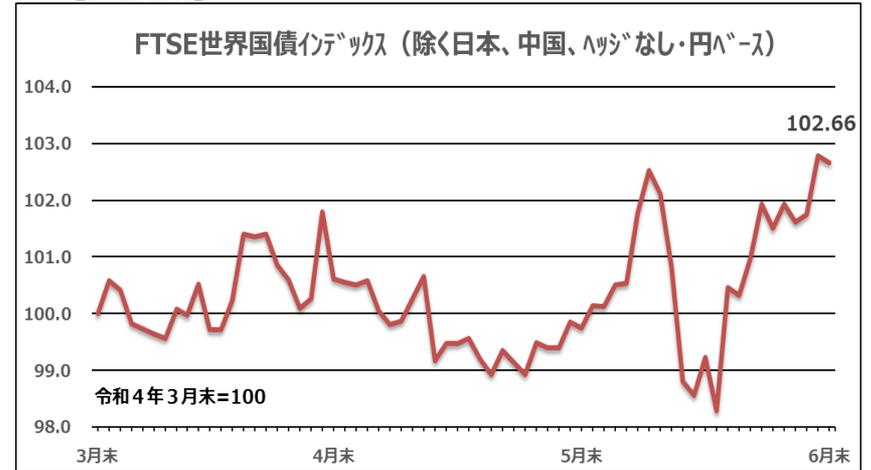
令和4年度 第1四半期市場環境(その2)

ベンチマークインデックスの推移 (令和4年度第1四半期) ※令和4年3月末時点の指数を「100」としてグラフ化しています

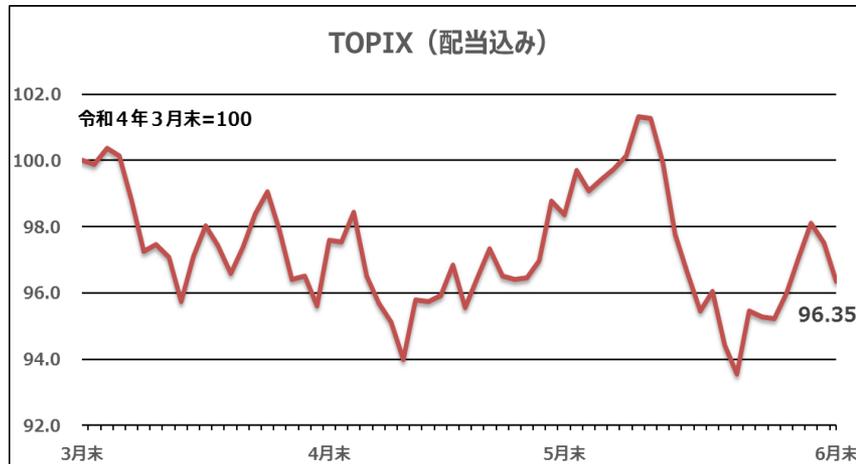
【国内債券】



【外国債券】



【国内株式】



【外国株式】

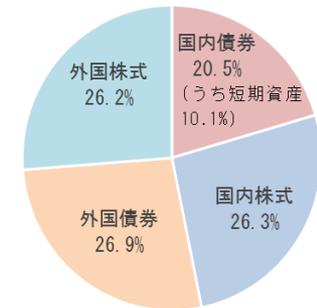


令和4年度 厚生年金保険給付組合積立金の資産構成割合

(単位：%)

	令和3年度 年度末	令和4年度				基本 ポートフォリオ
		第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末	
国内債券	25.4	20.5	-	-	-	25.0
うち短期資産	(13.9)	(10.1)	-	-	-	
国内株式	24.0	26.3	-	-	-	25.0
外国債券	23.9	26.9	-	-	-	25.0
外国株式	26.7	26.2	-	-	-	25.0
合計	100.0	100.0	-	-	-	100.0

第1四半期末 運用資産別の構成割合



- (注1) 基本ポートフォリオは、国内債券25% (±20%)、国内株式25% (±12%)、外国債券25% (±9%)、外国株式25% (±11%)です (括弧内は、許容乖離幅)。
- (注2) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
- (注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。
- (注4) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。
- (注5) 短期資産は未払金等を考慮しているため、マイナスの数値になることがあります。

令和4年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り

- 令和4年度第1四半期の修正総合収益率は、▲2.29%となりました。なお、実現収益率は、2.58%です。
 ○時間加重収益率については▲2.39%となり、資産別では、国内債券は▲0.96%、国内株式は▲4.34%、外国債券は2.64%、外国株式は▲6.52%となりました。

(単位：%)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	▲2.29	－	－	－	▲2.29

(単位：%)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
時間加重収益率	▲2.39	－	－	－	▲2.39
国内債券	▲0.96	－	－	－	▲0.96
うち短期資産	(0.00)	－	－	－	(0.00)
国内株式	▲4.34	－	－	－	▲4.34
外国債券	2.64	－	－	－	2.64
外国株式	▲6.52	－	－	－	▲6.52

(単位：%)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	2.58	－	－	－	2.58

(注1) 各四半期および「年度計」の収益率は期間率です。

(注2) 時間加重収益率は、運用手数料控除前のものです。

(注3) 修正総合収益率と実現収益率は、運用手数料控除後のものです。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 前年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用利回り

(単位：%)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	3.06	0.99	2.66	▲1.67	4.93

(単位：%)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
時間加重収益率	3.06	1.08	2.90	▲1.46	5.62
国内債券	0.62	0.12	▲0.03	▲1.25	▲0.55
うち短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)
国内株式	0.20	6.03	▲2.14	▲3.20	0.64
外国債券	1.63	▲0.87	2.52	▲1.34	1.90
外国株式	9.57	▲1.10	10.78	▲0.36	19.60

(単位：%)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益率	5.16	1.54	1.06	0.81	8.46

令和4年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額

- 令和4年度第1四半期の総合収益額は、▲53億円となりました。なお、実現収益額は、51億円です。
 ○資産別の総合収益額については、国内債券は▲5億円、国内株式は▲25億円、外国債券は15億円、外国株式は▲38億円となりました。

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	▲53	-	-	-	▲53
国内債券	▲5	-	-	-	▲5
うち短期資産	(1)	-	-	-	(1)
国内株式	▲25	-	-	-	▲25
外国債券	15	-	-	-	15
外国株式	▲38	-	-	-	▲38

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	51	-	-	-	51

- (注1) 収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。
 (注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。
 (注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。
 (注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 前年度 厚生年金保険給付組合積立金の運用収入の額

(単位：億円)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	74	24	66	▲42	122
国内債券	3	1	0	▲8	▲4
うち短期資産	(0)	(▲0)	(0)	(0)	(0)
国内株式	1	35	▲13	▲21	2
外国債券	9	▲5	15	▲8	11
外国株式	59	▲7	64	▲4	113

(単位：億円)

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	103	32	22	17	174

令和4年度 厚生年金保険給付組合積立金の資産の額

(単位：億円)

	令和4年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	436	433	▲3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち短期資産	(213)	(213)	(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
国内株式	492	556	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外国債券	533	569	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外国株式	395	555	160	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	1,855	2,113	257	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(単位：億円)

	令和3年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	514	519	5	734	738	4	635	639	4	628	626	▲2
うち短期資産	(228)	(228)	(▲0)	(446)	(446)	(0)	(347)	(347)	(0)	(342)	(342)	(0)
国内株式	474	590	115	480	626	146	490	612	122	499	591	92
外国債券	552	589	37	555	584	29	558	599	40	565	590	25
外国株式	379	604	225	397	598	201	410	662	252	418	658	240
合計	1,920	2,302	383	2,167	2,546	379	2,093	2,512	419	2,111	2,465	355

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 上記数値(令和4年度)は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(注3) 各ファンドで保有する短期資産は、原則として当該ファンドが主に持つ資産の資産区分に計上しております。

(注4) 短期資産は未払金等を考慮しているため、簿価、時価共にマイナスの数値となることがあります。

資産運用に関する専門用語の解説

- 厚生年金保険給付組合積立金
東京都職員共済組合が管理運用する年金積立金で、被用者年金一元化に際し仕分けられた厚生年金部分の年金積立金です。
- 退職等年金給付組合積立金
東京都職員共済組合が管理運用する年金積立金で、被用者年金一元化の際に新たに創設された民間の企業年金に相当する年金積立金で、退職給付の一部となっています。
- 経過的長期給付組合積立金
東京都職員共済組合が管理運用する年金積立金で、被用者年金一元化に際し仕分けられた旧職域部分の年金積立金です。
- 時間加重収益率
時間加重収益率は、時価に基づく運用収益に基づき、運用機関が自ら決めることができない運用元本の流出入の影響を排除して求めた収益率であり、その運用実績とベンチマーク収益率（市場平均収益率）との比較により、運用能力を評価することが可能になります。
東京都職員共済組合では、時間加重収益率の市場平均対比での超過収益率を測定し、運用行動の自己評価と運用受託機関の定量評価に使用しています。
(計算式)
時間加重収益率は、次の式により日次の収益率から月次の収益率を算出し、n期間の収益率を算出したものです。
 - ①日次の収益率 = { 当日時価総額 / (前日時価総額 + (当日の資金追加額 - 当日の資金回収額)) } - 1
 - ②月次の収益率 = $(1+r_1) (1+r_2) \cdots (1+r_n) - 1$ $r =$ 日次収益率
 - ③n期間の収益率 = $(1+R_1) (1+R_2) \cdots (1+R_n) - 1$ $R =$ 月次収益率
- 実現収益額
(計算式)
実現収益額 = 売買損益 + 利息・配当金収入 + 未収収益増減 (当期末未収収益 - 前期末未収収益)
- 実現収益率
(計算式)
実現収益率 = 実現収益額 ÷ 簿価平均残高

- 総合収益額
 実現収益額に資産の時価評価による評価損益を加味することにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。
 (計算式)

$$\text{総合収益額} = \text{実現収益額} + \text{評価損益増減 (当期末評価損益 - 前期末評価損益)}$$

- 修正総合収益率
 時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。総合収益額を、元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。
 (計算式)

$$\text{修正総合収益率} = \text{総合収益額} / (\text{簿価平均残高} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益})$$

- ベンチマーク
 運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指標を使用しています。東京都職員共済組合で採用している各運用資産のベンチマークは以下のとおりです。
 - 1 国内債券
 - ・ NOMURA - BPI 総合
 野村証券株式会社が作成・公表している国内債券のベンチマークです。
 ※NOMURA - BPI 総合は、その著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。
 株式会社野村総合研究所及び野村証券株式会社は、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。
 また、株式会社野村総合研究所及び野村証券株式会社は、当該指数に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該指数の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

 - 2 国内株式
 - ・ TOPIX (配当込み)
 東京証券取引所が作成・公表している国内株式のベンチマークです。
 ※東証株価指数 (TOPIX) は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、本件商品の発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

 - 3 外国債券
 - ・ FTSE 世界国債インデックス (除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース)
 FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している外国債券のベンチマークです。
 ※このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

4 外国株式

・MSCI ACWI（除く日本、円ベース、配当込み）

MSCI Incが作成・公表している日本を除く先進国及び新興国で構成された外国株式のベンチマークです。

○ ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率、いわゆる市場平均収益率のことです。